

- ▶ さぬき市では、森林環境譲与税を活用することにより、森林整備における幅広い活動ができることから、造林事業や林道整備等を行い森林が持つ本来の機能回復や災害に強い森林整備を行う。また、林地台帳を活用し、森林整備の促進に努め、森林が持つ本来の機能や森林資源の育成と多目的機能の維持管理を図る。
- ▶ 令和3年度には、以下の取り組みを行った。
 - ・森林整備を促進するために森林所有者へ経営に関する意向調査を実施した。
 - ・林道における支障木伐倒業務、林道維持修繕を実施した。

□ 事業内容

1 森林経営意向調査

- ・平成31年度に施行された森林経営管理制度に基づき、市内を3地区（南・東・北地区）に分け、令和3年度から令和5年度までの3ヶ年においてアンケート調査を実施する。令和3年度については南地区において、市内の森林所有者に所有森林に関する現在の管理状況及び今後の管理に対する意向について、アンケート調査を実施した。アンケートを基に、市内の私有林の状況を把握し、適正な森林管理を推進し、森林の機能の回復に努めるとともに、森林の荒廃を防止し、森林災害の抑止に努める。
- ・【事業費】3,387千円（うち譲与税3,387千円）
【実績】南地区 911ha
596世帯 634名

2 林道の支障木伐倒・維持管理等

- ・林道の支障木伐倒、維持管理等を行い、林道利用者の安全性を確保することで、森林経営計画に属する森林について間伐等の森林施業の促進を行った。

○支障木伐倒

【事業費】2,648千円（うち譲与税2,648千円）

【実績】林道矢筈太郎兵衛線の支障木伐倒

○林道維持管理等

【事業費】4,380千円（うち譲与税3,333千円）

【実績】林道の崩土除去及び側溝清掃等

4 基金積立

- ・譲与税の執行残額については、後年度における効果的な森林整備等に充てるため、基金を設置し、全額積立を行った。

【積立金】3,801千円

□ 工夫・留意した点

- ・すでに導入している、林地台帳を活用することで、市内の森林や林道、林道橋梁をリアルタイムで管理できるようにした。
- ・森林経営計画対象森林に近接する林道を整備することにより、森林所有者及び森林整備作業等が安全に林道を利用できるようにした。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	13,169千円
②私有林人工林面積（※1）	1,402ha
③林野率（※2）	52.0%
④人口（※3）	50,272人
⑤林業就業者数（※4）	55人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2020農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より